

## ＜群馬抑制廃止研究会 活動報告＞

平成 29 年 3 月 11 日（土）「身体拘束廃止に関する研究会」を開催いたしました。

日 時 平成 29 年 3 月 11 日（土）14:00～

場 所 群馬県社会福祉総合センター8F 大ホール

プログラム

1. 開 会
2. あいさつ
3. 講 演

I 【知っておきたい薬の知識

～くすりのりすくと認知症ケア～】

(株)ファーマみらい群馬第1・山梨事業部 部長 兼 東日本支社在宅推進部 部長  
群馬県薬剤師会 常務理事 高橋 良徳 先生

II 【鼻めがねという暴力 ～虐待の予防策を中心に～】

NPO 法人ミニケアホームきみさんち 理事長  
全国グループホーム団体連合会 副代表

林田 俊弘 先生

4. 閉 会



この会は身体拘束廃止推進事業として群馬県から委託されたものです。当日は県内のさまざまな介護事業所から 213 人の参加者が集まりました。

今年度は、2 人の講師を招き介護従事者に必要な薬の知識、身体拘束、高齢者虐待廃止に向けてのご講義をいただきました。

はじめに、高橋良徳先生より、薬の作用や副作用、認知症治療薬や睡眠薬の種類やその作用等について丁寧にわかりやすくご講義していただきました。

次に、林田俊弘先生からは、自身が運営する施設で起きた虐待の経験から、虐待に繋がる不適切ケアの芽を摘むことの大切さ。虐待を個人の問題として捉えるのではなく、組織の問題として対応し、しっかり職員を束ねることが必要であると気持ちを込めて熱弁いただきました。林田先生の虐待に対する思いは、参加者の心に響いたと確信しております。

今回、参加された皆様は、学んだ知識や感じた思いを、高齢者ケアの質向上のために活かしていただきたいと思います。

